



国家卫生计生委疾病预防控制局 (全国爱国卫生运动委员会办公室)

2017年11度全国法定伝染病情報

国家卫生计生委 www.nhfpc.gov.cn 2017-12-12

2017年11月(2017年11月01日00:00~11月30日24:00)内の、全国(台湾香港マカオは含まず、以下同)の法定伝染病例は577,247例(宮本注:前月は646,871例69,624人減)、死亡者数は1,958名(前月は1,638例;320人増)であった。

うち、

A(甲)類伝染病では、ペスト、コレラともに発症・死亡ゼロ、であった。

B(乙)類伝染病はSARS、ジフテリア、ポリオ及びヒト感染高病原性鳥インフルエンザで発症・死亡なし以外、残22種については、発症299,615例(前月は273,020例:26,595人増に転)、死亡1,951例(前月は1,634例:317人増に転)が報告されている。報告されている発症データの病種ワースト5は、ウイルス性肝炎、肺結核、梅毒、淋病と猩紅熱(猩紅熱が5位にランクイン)で、B類伝染病報告総数の93%を占めていた。

同期、C(丙)類伝染病では、フィラリア症では発症・死亡ともにゼロだったが、その他10種の伝染病では、発症数は277,632例(前月は373,851例で96,219増)、死亡は7例(前月は4例で3人増に転)であった。

発症データの3位までの病種は、手足口病、その他感染性下痢とインフルエンザ、(おたふく風邪がランク外に、3位にインフルエンザがランクイン)であり、C(丙)類伝染病報告総数の90%を占めていた。

(H7N9 鳥インフルエンザ患者と死亡者について:

1. 国家衛生計生委は、昨年12月度は発症者数106、死亡20名、1月度になり発症者数192、死亡79名と発症者数で倍増、死亡者数で4倍になっていましたが、2月度も発症者162、死亡61名と、数は減ったものの依然として高水準。そして、3月度も発症者96人死亡者47人、さらに4月度は81人(死亡24人)、5月度72人(死亡37人)、6月度35人(死亡13人)、7月は2人(死亡2人)となり8月は5人(そして5人全員が死亡)と前月比3人増とはいえ、傾向としては減少傾向にあります。9月は2人発症、死亡ゼロ、10月は発症死亡者ともにゼロ、11月は1人(死亡1人)と第6の波はまだ到来していない様です。
2. 昨年11月以後の第5波は2013年以後の最高値、2014年度累計の2倍以上に、累計死者数263人も、2014年の2倍です。
3. 3月にはチベット(ラサ)と甘肅省で患者が発生。4月は陝西省も陥落。『初の患者』がでてしまいましたが、5月に入ってから内モンゴルも陥落。6~8月間に新たに陥落した省はありませんでした。現時点で未陥落の省は、青海省、寧夏回族自治区と黒竜江省の3省のみですが、黒竜江省では鳥間の集団発生が見られますので、次の冬~春季に患者が出てくるという考え方を排除できません。
4. 浙江省、江蘇省、湖南、湖北省、北京市に続き、安徽省も患者のタイムリーな発表を意図的に隠し続けている様ですが、四川省アバ自治州若爾蓋などは刻々と変わる発生の状況をタイムリーに伝えており、これにより『デマ』に惑わされないようにとの工夫をしています。8月になって湖南省CDCは単発患者1名を発表していますので、隠蔽体質の省から外せるかもしれません。もう少し様子見が必要。
5. 1月からのFluTrackersとの情報交換共同作業をする中で、1590号患者(11月30日発表)まで追いかけることができました(7月に中側からFAOに発表された12人がいまだに詳細を確認することが未だにできずいます)。FluTrackersの分析では、『必ずしもすべての数字がWHOに報告されていない恐れがある』とされています。実際、FluTrackersは、NHFPCCや省・市のHFPCやHFPB、それに香港CHPの正式発表をもとに重複排除しており、中国政府当局の作為的な操作があるのかは別にして、乖離があります。中国当局からFAOへの通報、これに基づくFAOの発表についても上で述べたように『謎』の部分が出てきています。これらの患者がどうなったのかは、衛生計生委が毎年行っているB型肝炎患者数や梅毒患者数の操作と同じように『いかなかったこと』にされるのかもしれませんが。患者が少なかったことから情報提供も僅か、それでも弊所からFluTrackersへの情報提供数は374本になりました(as of Dec. 13)。

2014年1月に浙江省HFPCが発表している『確診患者は日日発表、死亡患者は翌月の月報にて発表。これが乙類伝染病としての管理だ』という内容の記事を弊研究所サイトにアップしていますが、『2014-01-27 浙江省のH7N9鳥フル患者死亡者数発表に関して <https://wp.me/p66EIr-2IP>』をご参照ください。

6. また、家禽の養殖場(採卵用の養鶏場)での集団発生が、3 月には湖南省永州市、5 月には河北邢台市、河南平頂山市、天津市で発生。6 月に入ってからには陝西省榆林市、内モンゴルフフホト市、内モンゴボグト(包頭)市、黒竜江省双鴨山市、そして8 月には安徽省滁州市鳥間のアウトブレイクが発生しています(PPT に新たに1 枚追加しています)。合計9 件目の集団発生。9 月以降のアウトブレイク報告はありません。
7. 鳥間での病原性が低病原性から高病原性に変化しているようです(上海復旦大学の研究成果が『ランセット』感染症』に発表されたようです)が、今後の動向に注意していきたいと考えています。
(⇒See [20171212 中国 H7N9 型鳥インフルエンザ発症者情報](#))

<http://www.nhfpc.gov.cn/jkj/s3578/201712/18c87bc848594ab49113016ff759100a.shtml>

..... 以下は中国語原文

2017 年 11 月全国法定传染病疫情概况

国家卫生计生委 www.nhfpc.gov.cn 2017-12-12

2017 年 11 月 (2017 年 11 月 1 日 0 时至 11 月 30 日 24 时), 全国 (不含港澳台, 下同) 共报告法定传染病 577247 例, 死亡 1958 人。其中, 甲类传染病中鼠疫、霍乱均无发病、死亡报告。乙类传染病中传染性非典型肺炎、白喉、脊髓灰质炎和人感染高致病性禽流感无发病、死亡报告, 其余 22 种传染病共报告发病 299615 例, 死亡 1951 人。报告发病数居前 5 位的病种依次为病毒性肝炎、肺结核、梅毒、淋病以及猩红热, 占乙类传染病报告病例总数的 93%。

同期, 丙类传染病中丝虫病无发病、死亡报告, 其余 10 种传染病共报告发病 277632 例, 死亡 7 人。报告发病数居前 3 位的病种依次为手足口病、其他感染性腹泻病和流行性感冒, 占丙类传染病报告病例总数的 90%。

附件: 2017 年 11 月全国法定报告传染病发病、死亡统计表

20171212A 中国法定伝染病月報(11 月)